

沼津工業高等専門学校

数理・データサイエンス・A | 教育プログラム自己評価

評価日時：令和8年3月6日（金）

目的：令和7年度 数理・データサイエンス・A | 教育プログラム（リテラシー）の自己評価

プログラムの評価項目	評価（案）	評価理由（案）
教育プログラムの履修・修得状況	S	全学科の学生に対してリテラシーレベルの科目を開講しており、ほぼ全ての学生がプログラムを修得した。
全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	S	プログラムを構成する科目は全て必修科目のため、全学科の学生の履修率は100%である。
産業界等社会からの視点を含めた、教育プログラム内容・手法に関する事項	S	今年度、外部有識者で構成される会議において、当プログラムに関する意見を伺い、プログラムの改善に務めた。
学生アンケート等を通して、学生の達成度を把握し、数理・データサイエンス・A を学ぶことの楽しさ・意義を理解させること	A	本プログラムの授業アンケートの結果から以下の結果を得られた。 ・授業内容を「よく理解できた」「理解できた」：84% ・得られた知識が自らの将来に活かせるか「とてもそう感じた」「そう感じた」：87% また、数理・データサイエンス・AIへの興味関心について、71%以上が「とても関心が増した」、「関心が増した」と回答しており、「ある程度関心が増した」を加えると95%から肯定的な回答を得られた。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること及び学修成果	S	本プログラムの授業アンケートの結果、授業内容を「よく理解できた」「理解できた」と回答した学生は84%であり、またアンケート結果は、授業担当教員にフィードバックしており、来年度の授業を改善できる体制を構築している。

内部評価の基準

S：十分満足している。

A：満足している。

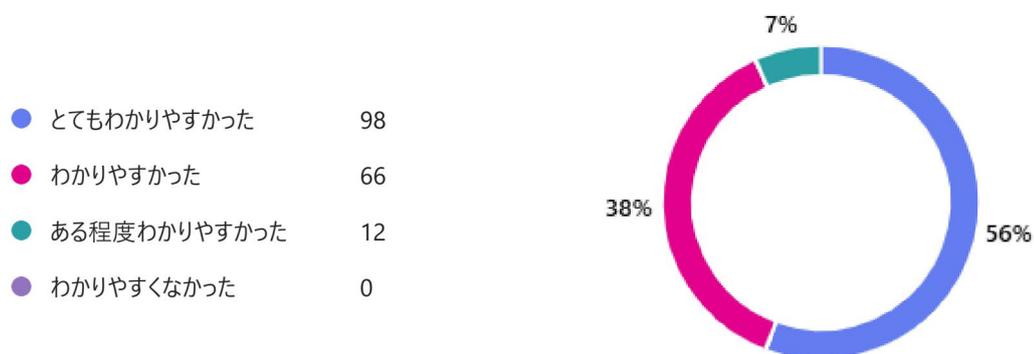
B：改善を要するが、対応策が立案され、対応に着手している。

C：改善を要し、対応策が立案されていない。

応答の概要 アクティブ



1. 当教育分野の授業について、教員の説明や教材の利用が適切で授業内容がわかりやすかったですか？

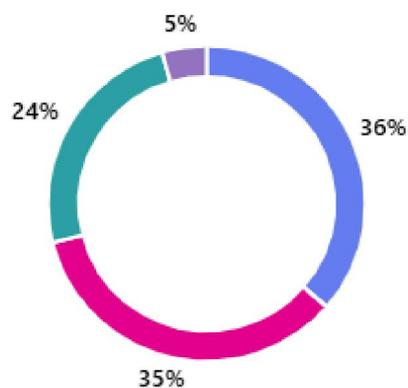


2. 当教育分野の授業について、レベルや進度は、自分にとって適切でしたか？



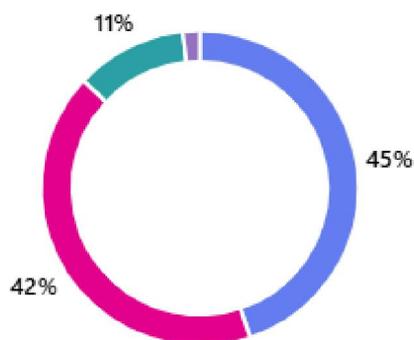
3. 当教育分野の授業を受けることで、データサイエンス・AI教育分野に関する興味関心が増しましたか？（キーワード：人工知能、機械学習、ニューラルネットワーク、深層学習）

● とても関心が増した	64
● 関心が増した	61
● ある程度関心が増した	43
● 関心を持てなかった	8



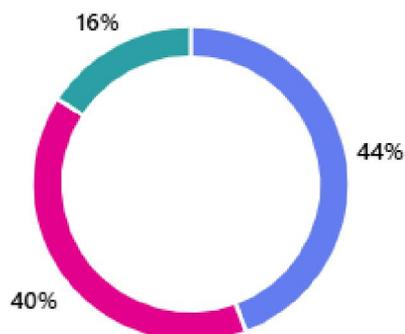
4. 全体として、当教育分野の授業は楽しかったですか？また得られる知識が自らの将来に活かせると感じることがありましたか？

● とてもそう感じた	79
● そう感じた	74
● ある程度そう感じた	20
● そのように感じることはなかった	3



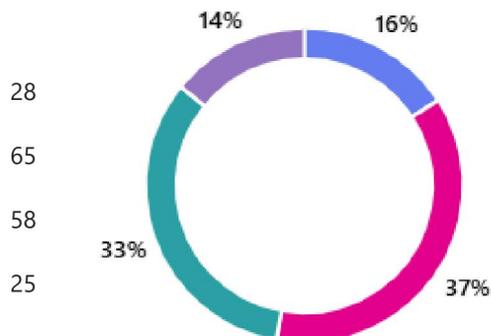
5. 全体として、当教育分野の授業を理解できましたか？

● よく理解できた	78
● 理解できた	70
● ある程度理解できた	28
● 理解できなかった	0



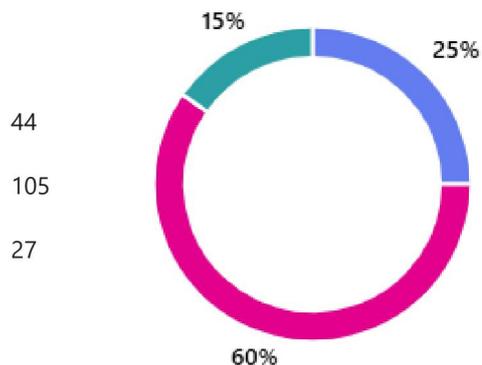
6. データサイエンス・AI技術の概要を説明できますか？（キーワード：人工知能、機械学習、ニューラルネットワーク、深層学習）

- キーワードに上げるようなデータサイエンス・AI技術に関する技術や特徴をほとんど説明できる。
- キーワードに上げるようなデータサイエンス・AI技術に関する技術や特徴を2項目以上説明できる。
- キーワードに上げるようなデータサイエンス・AI技術に関する技術や特徴を1項目以上説明できる。
- データサイエンス・AI技術に関する技術や特徴を全く説明できない。



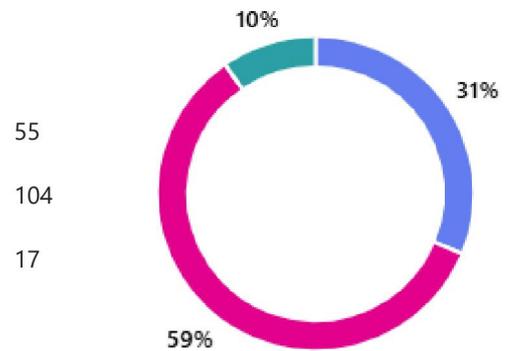
7. データサイエンス・AI技術が社会や日常生活における課題解決の有用なツールであり、様々な専門領域の知見と組み合わせることによって価値を創造するものであることを、活用事例をもとに説明できますか？

- データサイエンス・AI技術が社会や日常生活における課題解決の有用なツールであり、専門知識を組み合わせることに...
- データサイエンス・AI技術が社会や日常生活における課題解決の有用なツールであり、専門知識を組み合わせることに...
- データサイエンス・AI技術が社会や日常生活における課題解決の有用なツールであり、専門知識を組み合わせることに...



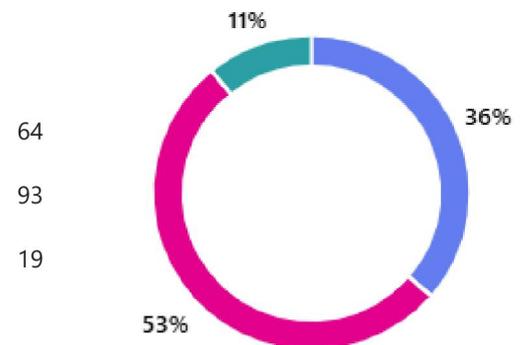
8. データAI技術はその活用領域が広がってきており、社会の課題を解決できる基本的なツールであることを説明できますか？データサイエンス・AI技術を活用する際に求められるモラルや倫理について理解し、データを守るために必要な事項を説明できますか？

- データサイエンス・AI技術を扱う際のモラルや倫理の必要性について説明でき、データを守るために必要な事項を説明できる。
- データサイエンス・AI技術を扱う際のモラルや倫理の必要性について説明できる。
- データサイエンス・AI技術を扱う際のモラルや倫理の必要性について説明できない。



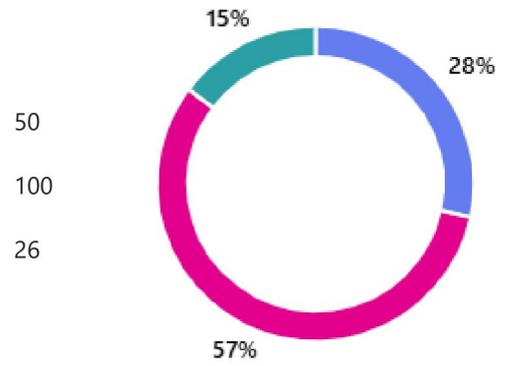
9. データサイエンス・AI技術の利活用に必要な基本的スキル（データの取得、可視化、分析）を使うことができますか？

- データをグラフで可視化したり、平均値などの代表値で表したりして分析し、データを活用することができる。
- データやAI技術と専門知識を組み合わせることによって新たな価値を創造している事例を説明できる。データをグラフ等...
- データをグラフ等で可視化したり、平均値などの代表値で表すことができない。



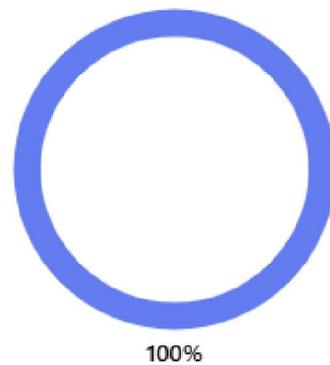
10. 自らの専門分野において、データサイエンス・AI技術と社会や日常生活との関わり、活用方法について説明できますか？

- 自らの専門分野で（データサイエンス・AI技術が発展する以前と比べ、）データサイエンス・AI技術が発展している現代...
- 自らの専門分野で（データサイエンス・AI技術が発展する以前と比べ、）データサイエンス・AI技術が発展している現代...
- 自らの専門分野で（データサイエンス・AI技術が発展する以前と比べ、）データサイエンス・AI技術が発展している現代...



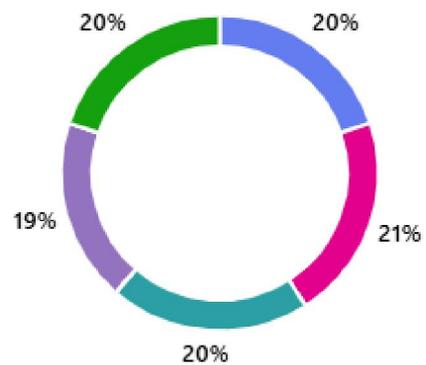
11. あなたの学年は？

- 1 176
- 2 0
- 3 0
- 4 0
- 5 0



12. あなたの学科は？

- M 35
- E 37
- D 36
- S 33
- C 35



沼津工業高等専門学校

数理・データサイエンス・A | 教育プログラム自己評価

評価日時：令和8年3月6日（金）

目的：令和7年度 数理・データサイエンス・A | 教育プログラム（応用基礎）の自己評価

プログラムの評価項目	評価（案）	評価理由（案）
教育プログラムの履修・修得状況	S	全学科の学生に対して応用基礎レベルの科目を開講しており、全学生がプログラムを履修し、92%の学生がプログラムを修得した。
全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	S	プログラムを構成する科目は全て必修科目のため、全学科の学生の履修率は100%である。
産業界等社会からの視点を含めた、教育プログラム内容・手法に関する事項	S	今年度、外部有識者で構成される会議において、当プログラムに関する意見を伺い、プログラムの改善に務めた。
学生アンケート等を通して、学生の達成度を把握し、数理・データサイエンス・A を学ぶことの楽しさ・意義を理解させること	A	本プログラムの授業アンケートの結果から以下の結果を得られた。 ・授業内容を「よく理解できた」「理解できた」：78% ・得られた知識が自らの将来に活かせるか「とてもそう感じた」「そう感じた」：80% また、数理・データサイエンス・AIへの興味関心について、76%が「とても関心が増した」、「関心が増した」と回答しており、「ある程度関心が増した」を加えると93%から肯定的な回答を得られた。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること及び学修成果	S	本プログラムの授業アンケートの結果、授業内容を「よく理解できた」「理解できた」と回答した学生は78%であり、またアンケート結果は、授業担当教員にフィードバックしており、来年度の授業を改善できる体制を構築している。

内部評価の基準

S：十分満足している。

A：満足している。

B：改善を要するが、対応策が立案され、対応に着手している。

C：改善を要し、対応策が立案されていない。

応答の概要 終了済み

応答

105 

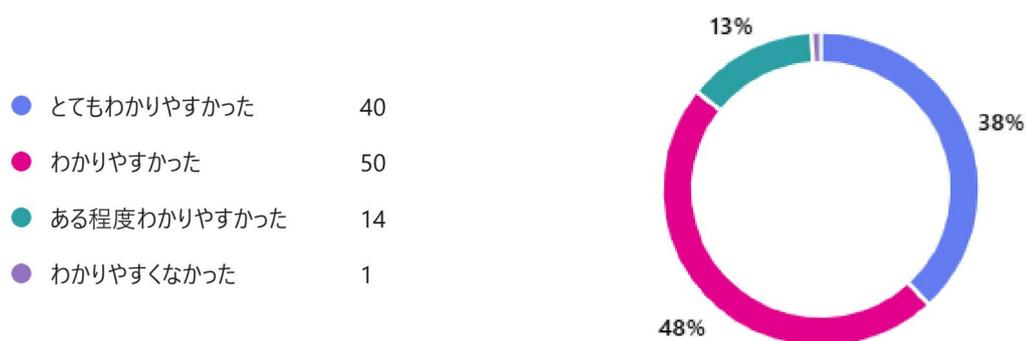
平均時間

04:21 

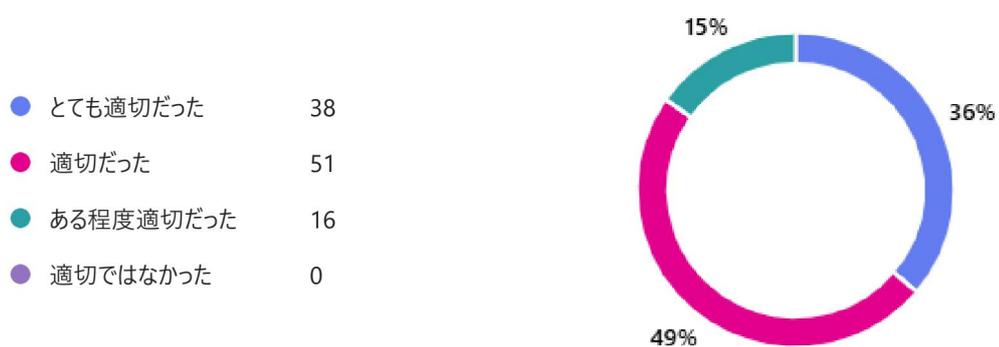
期間

0 日 

1. 当教育分野の授業について、教員の説明や教材の利用が適切で授業内容がわかりやすかったですか？

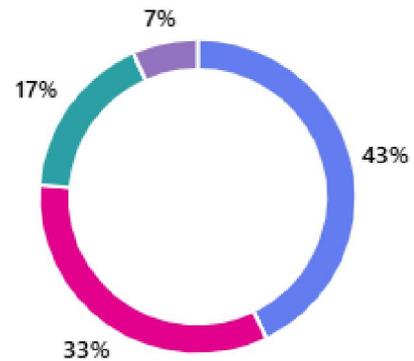


2. 当教育分野の授業について、レベルや進度は、自分にとって適切でしたか？



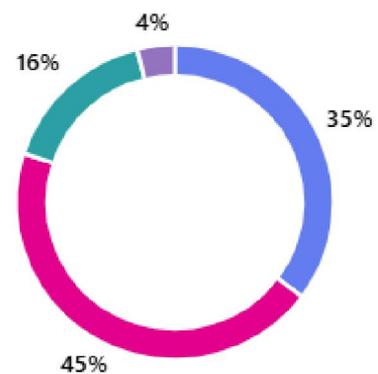
3. 当教育分野の授業を受けることで、データサイエンス・AI教育分野に関する興味関心が増しましたか？（キーワード：人工知能、機械学習、ニューラルネットワーク、深層学習）

● とても関心が増した	45
● 関心が増した	35
● ある程度関心が増した	18
● 関心を持てなかった	7



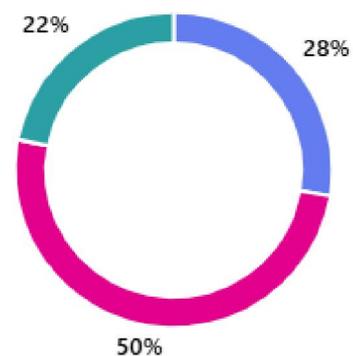
4. 全体として、当教育分野の授業は楽しかったですか？また得られる知識が自らの将来に活かせると感じることがありましたか？

● とてもそう感じた	37
● そう感じた	47
● ある程度そう感じた	17
● そのように感じることはなかった	4



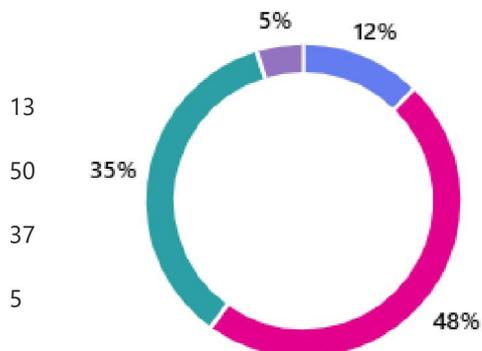
5. 全体として、当教育分野の授業を理解できましたか？

● よく理解できた	29
● 理解できた	53
● ある程度理解できた	23
● 理解できなかった	0



6. データサイエンス・AI技術の概要を説明できますか？（キーワード：人工知能、機械学習、ニューラルネットワーク、深層学習）

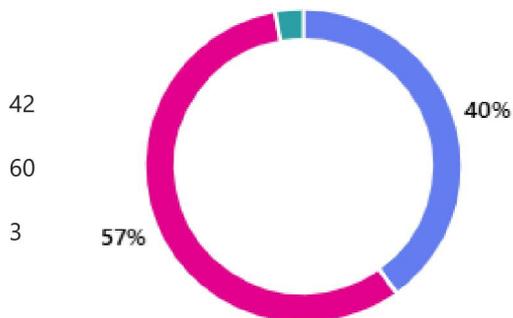
- キーワードに上げるようなデータサイエンス・AI技術に関する技術や特徴をほとんど説明できる。
- キーワードに上げるようなデータサイエンス・AI技術に関する技術や特徴を2項目以上説明できる。
- キーワードに上げるようなデータサイエンス・AI技術に関する技術や特徴を1項目以上説明できる。
- データサイエンス・AI技術に関する技術や特徴を全く説明できない。



13
50
37
5

7. データサイエンス・AI技術が社会や日常生活における課題解決の有用なツールであり、様々な専門領域の知見と組み合わせることによって価値を創造するものであることを、活用事例をもとに説明できますか？

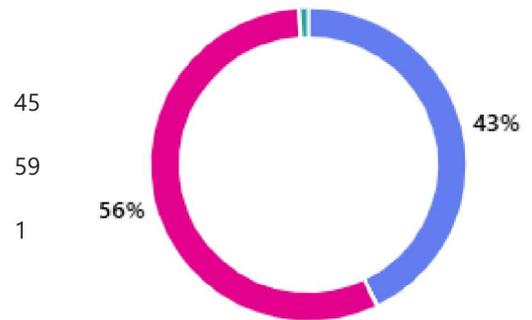
- データサイエンス・AI技術が社会や日常生活における課題解決の有用なツールであり、専門知識を組み合わせることに...
- データサイエンス・AI技術が社会や日常生活における課題解決の有用なツールであり、専門知識を組み合わせることに...
- データサイエンス・AI技術が社会や日常生活における課題解決の有用なツールであり、専門知識を組み合わせることに...



42
60
3

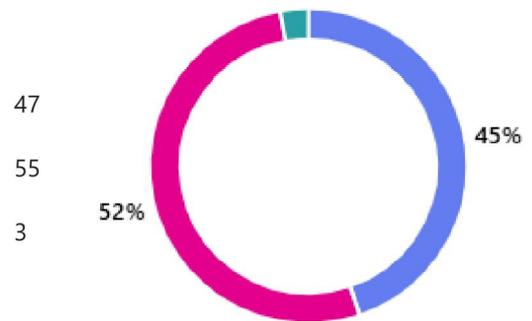
8. データAI技術はその活用領域が広がってきており、社会の課題を解決できる基本的なツールであることを説明できますか？ データサイエンス・AI技術を活用する際に求められるモラルや倫理について理解し、データを守るために必要な事項を説明できますか？

- データサイエンス・AI技術を扱う際のモラルや倫理の必要性について説明でき、データを守るために必要な事項を説明できる。
- データサイエンス・AI技術を扱う際のモラルや倫理の必要性について説明できる。
- データサイエンス・AI技術を扱う際のモラルや倫理の必要性について説明できない。



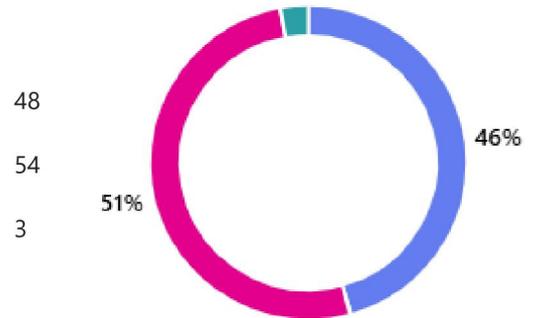
9. データサイエンス・AI技術の利活用に必要な基本的スキル（データの取得、可視化、分析）を使うことができますか？

- データをグラフで可視化したり、平均値などの代表値で表したりして分析し、データを利活用することができる。
- データやAI技術と専門知識を組み合わせることによって新たな価値を創造している事例を説明できる。データをグラフ等...
- データをグラフ等で可視化したり、平均値などの代表値で表すことができない。



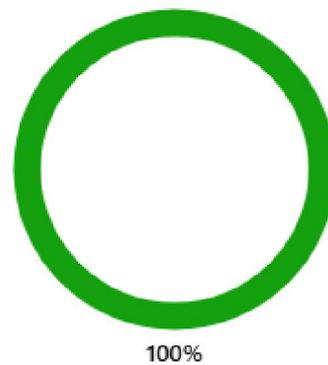
10. 自らの専門分野において、データサイエンス・AI技術と社会や日常生活との関わり、活用方法について説明できますか？

- 自らの専門分野で（データサイエンス・AI技術が発展する以前と比べ、）データサイエンス・AI技術が発展している現代...
- 自らの専門分野で（データサイエンス・AI技術が発展する以前と比べ、）データサイエンス・AI技術が発展している現代...
- 自らの専門分野で（データサイエンス・AI技術が発展する以前と比べ、）データサイエンス・AI技術が発展している現代...



11. あなたの学年は？

- 1 0
- 2 0
- 3 0
- 4 0
- 5 105



12. あなたの学科は？

- M 27
- E 7
- D 25
- S 21
- C 25

